

手話普及・促進に向けての取り組み

伊奈町として

保育所(園) ～手話で歌おう～

町内の保育所(園)や幼稚園では、幼いころから遊びや保育を通じて手話に触れ、手話をより身近に感じてもらうために活動に手話を取り入れています。園児たちは、簡単な手話や指文字の練習をしたり、歌にあわせて手話を楽しく学んでいます。



老人福祉センター ～簡単な手話で脳トレ～

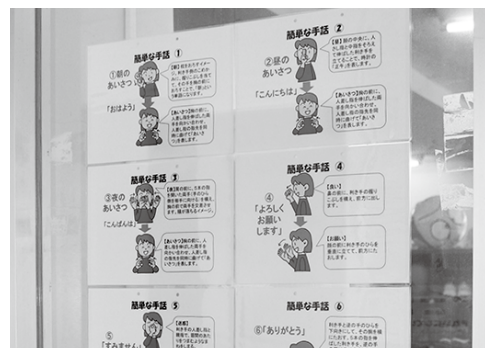
伊奈町老人福祉センター来所者を対象に行われているもので、手話の練習によって脳の活性化や介護予防の効果も期待できます。

老人福祉センターのほか、町内「いきいきふれあいサロン」や地域の居場所「ふる里」、「ふる里北」等でも同様の取り組みがされる予定です。



小・中学校 ～「簡単な手話」の掲示～

小・中学校では、手話でのあいさつなどの掲示をしています。児童・生徒の目に触れる場所に掲示することで、手話に親しみをもち、身近に感じてもらうとする取り組みです。



役場職員 ～手話研修会～

役場の職員を対象に行われたもので、ろう者の方が来庁された際に簡単な手話等で対応できるように、また、手話に関心を持ってもらうために開催されました。講師には、埼玉県聴覚障害者協会の新久光三氏を迎え、手話言語条例や聴覚障害について学びました。簡単な手話の実践学習もあり、職員は真剣に学んでいました。(9月26日)



▲研修中の様子



▲新久光三氏

バンダナの配布

災害時などに手話等での支援の希望をしたり、健聴者が手話での支援が可能なことを意思表示することができるバンダナを希望者に配布しています。福祉課で受け取ることができます。



伊奈町・伊奈町社会福祉協議会の

伊奈町社会福祉協議会として

手話講習会の開催 ～手話の習得を目指して～

聴覚障がい者への理解を深めるとともに、コミュニケーションとしての手話技術の習得を目的に手話講習会を毎年開催しています。講習会は入門・基礎・手話通訳者養成の3つに分かれており、今年は基礎編が開催されています。



講習会の様子



手話講習会参加者に伺いました!



耳の聞こえが悪い友達がいる、手話を使ってその友達と話せたらいいなと思ったことがきっかけで、以前講習会に参加したことがありました。そのときは入門編でしたが、今年基礎編が開催されることを知って、ステップアップしたいと思い立ち、受講を決めました。

講師の方のわかりやすい説明に加え、会の雰囲気もよく、毎週楽しく手話を学んでいます。手話を学べるだけでなく、週に1回顔を合わせることで、地域のつながりができることも魅力だと思います。

将来は、町中で困っている方がいたときや、災害のときに少しでも力になれるといいなと思っています。

▶ 講習会参加者 尾台 亜衣子 さん



誰もが暮らしやすいまちにするために

私たち日本人が海外旅行に行ったとき、現地の方が日本語を話してくれて、自分の思うことが伝わったとき、安心感や嬉しさを感じると思います。ろう者の方も同じく、自分が使う「手話」という言語を理解してくれて「自分の思うことが伝わる」ことは本当に嬉しいことです。「手話」をひとつの言語として認識し、みなさんが少しでも手話に興味を持って実際に手話を学んだり、使っていただけたら幸いです。まちを歩いていると、いたるところで健聴者とうろ者が手話で楽しそうに会話している、なんて未来は素敵だと思いませんか？